



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年10月29日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ベリサーブ

コード番号 3724 URL <http://www.veriserve.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 新堀 義之

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行役員

(氏名) 高橋 豊

TEL 03-5909-5700

四半期報告書提出予定日 平成25年11月8日

配当支払開始予定日

平成25年12月9日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	2,435	△11.2	67	△36.9	50	△52.2	△3	—
25年3月期第2四半期	2,743	△0.2	106	36.1	106	3.1	43	△9.6

(注)包括利益 26年3月期第2四半期 5百万円 (△88.6%) 25年3月期第2四半期 52百万円 (6.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
26年3月期第2四半期	△1.53	—
25年3月期第2四半期	16.85	—

(注)当社は、平成25年10月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
26年3月期第2四半期	5,329	4,684	87.9	1,796.07
25年3月期	5,580	4,718	84.5	1,808.80

(参考)自己資本 26年3月期第2四半期 4,684百万円 25年3月期 4,718百万円

(注)当社は、平成25年10月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり純資産を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
25年3月期	—	1,000.00	—	1,500.00	2,500.00
26年3月期	—	1,000.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	15.00	—

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成25年10月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を実施しております。平成26年3月期(予想)の期末の1株当たり配当金につきましては、株式分割を考慮した金額を記載しております。なお、当該株式分割を考慮しない場合の年間配当額(予想)は、2,500円00銭(第2四半期末:1,000円00銭 期末:1,500円00銭)となります。

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	5,700	2.3	400	13.1	370	13.1	170	13.9	65.17

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成25年10月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を実施しております。1株当たり当期純利益につきましては、当該株式分割を考慮した金額を記載しております。なお、当該株式分割を考慮しない場合の1株当たり当期純利益は、6,517円41銭となります。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	2,608,400 株	25年3月期	2,608,400 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	— 株	25年3月期	— 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	2,608,400 株	25年3月期2Q	2,608,400 株

(注) 当社は、平成25年10月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。発行済株式数(普通株式)は、当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定して記載しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(1) 業績予想について

本資料に記載されている業績見通し等将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績の前提条件その他の関連する事項につきましては、P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照下さい。

(2) 株式分割について

当社は、平成25年5月21日開催の取締役会及び平成25年6月21日開催の第12回定時株主総会において、株式の分割及び単元株制度の採用について決議し、平成25年10月1日を効力発生日として普通株式1株を100株へ分割し、単元株式数を100株とすることとしております。これに伴う平成26年3月期の配当予想及び業績予想につきましては、該当項目をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
5. 補足情報	7
(1) 生産、受注及び販売の状況	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新政権による経済政策や金融政策を背景に、円安や株高が進行し、景気は緩やかな回復基調となりました。一方、来年4月からの消費税率引き上げへの不安感や新興国経済の減速懸念などの景気下振れリスクにより、先行きが不透明な状況が続いております。

当社グループの主要顧客である製造業においては、輸出産業を中心に企業収益が改善に向かうなど明るい兆しが見えつつありますが、長引く不況の影響から引き続き予算縮小や内製化を行う傾向が見受けられました。また、製造業では収益力とコスト競争力の観点から、海外生産拠点での国際分業を進めるとともに、経営資源を効率的に配分していくために事業の選択と集中がより図られていくものと考えられます。

こうした中、当社グループにおきましては、顧客のニーズに対応し、既存取引の維持・拡大に努めることで、業績拡大に注力するとともに、新規分野・新規顧客の開拓に努めてまいりました。

検証対象製品を分野別に見てみますと、I T S（高速道路交通システム）関連につきましては、主力分野であるカーナビゲーション・システムが本格的な回復には至りませんでした。また、それ以外の車載関連において新規案件の獲得もあり、前第2四半期連結累計期間に比べて売上高が増加しました。また、本年10月にI T S世界会議が東京で行われるなど、その多様化・高度化する情報技術に高い関心が注がれていることから、今後も当社グループではビジネスの維持・拡大に向けて引き続き注力してまいります。制御機器や産業機器といったその他の組込製品については、新規案件の寄与もあり、前第2四半期連結累計期間と比べて売上高が増加した反面、A V関連機器、モバイル通信やエンタープライズ系などの組込み以外のソフトウェア分野においては停滞いたしました。一方、中国では景気減速により、検証案件が減少しており、厳しい状況となっております。

当社グループでは、幅広い分野で検証業務を提供するため、検証技術者のコントロールを適宜行い、適材適所に配置してまいりました。また、全般的なコストの見直しも進めており、販売費及び一般管理費は、前第2四半期連結累計期間に比べ7.6%減少いたしました。

以上のような結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は2,435,640千円（前年同四半期比11.2%減、307,899千円減）、営業利益は67,184千円（前年同四半期比36.9%減、39,326千円減）、経常利益は50,708千円（前年同四半期比52.2%減、55,413千円減）、四半期純損失は3,999千円（前年同四半期は四半期純利益43,958千円）となりました。

なお、サービス別の業績につきましては、後述の「5. 補足情報（1）生産、受注及び販売の状況」をご参照下さい。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況に関する分析

当第2四半期連結会計期間末における資産、負債及び純資産の状況は次のとおりであります。

（資産の部）

当第2四半期連結会計期間末における流動資産合計は、前連結会計年度末に比べ181,571千円減少し、4,803,695千円となりました。これは主に売掛金、繰延税金資産が減少したことによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における固定資産合計は、前連結会計年度末に比べ69,701千円減少し、525,852千円となりました。これは主に有価証券売却及び持分法による投資損失の計上によるものであります。

以上の結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べ251,272千円減少し、5,329,548千円となりました。

（負債の部）

当第2四半期連結会計期間末における流動負債合計は、前連結会計年度末に比べ211,634千円減少し、478,954千円となりました。これは主に買掛金及び未払法人税等が減少したことによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における固定負債合計は、前連結会計年度末に比べ6,450千円減少し、165,719千円となりました。これは退職給付引当金が減少したことによるものであります。

以上の結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ218,084千円減少し、644,673千円となりました。

（純資産の部）

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ33,187千円減少し、4,684,874千円となりました。これは主に配当金の支払により利益剰余金が減少したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況に関する分析

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べて9,271千円減少し、3,870,349千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は、以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、21,746千円の増加となりました。これは主に法人税等の支払により減少したものの、売上債権の回収により増加したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは、1,696千円の増加となりました。これは主に無形固定資産の取得により減少したものの、有価証券の売却や敷金及び保証金の回収により増加したことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは、39,374千円の減少となりました。これは配当金の支払により減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、当社グループを取り巻く環境は引き続き厳しい環境が続くものと想定されますが、現時点では同日(平成25年10月29日)に公表いたしました「平成26年3月期第2四半期連結累計期間業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ」のとおり、変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,879,621	3,870,349
受取手形及び売掛金	897,500	725,682
仕掛品	29,029	31,169
前払費用	42,225	72,106
繰延税金資産	108,730	87,100
その他	28,159	17,287
流動資産合計	4,985,266	4,803,695
固定資産		
有形固定資産	63,148	57,068
無形固定資産	204,419	197,616
投資その他の資産		
投資有価証券	35,000	7,000
関係会社株式	78,032	59,603
繰延税金資産	67,496	64,839
敷金及び保証金	145,753	137,898
その他	1,703	1,826
投資その他の資産合計	327,985	271,167
固定資産合計	595,554	525,852
資産合計	5,580,821	5,329,548
負債の部		
流動負債		
買掛金	106,503	71,328
未払金	24,114	6,022
未払費用	109,186	101,394
未払法人税等	157,464	37,396
未払消費税等	43,347	26,175
預り金	32,206	17,274
賞与引当金	211,201	186,170
その他	6,565	33,192
流動負債合計	690,588	478,954
固定負債		
退職給付引当金	168,970	162,519
役員退職慰労引当金	3,200	3,200
固定負債合計	172,170	165,719
負債合計	862,758	644,673
純資産の部		
株主資本		
資本金	792,102	792,102
資本剰余金	775,852	775,852
利益剰余金	3,150,712	3,113,004
株主資本合計	4,718,667	4,680,959
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△605	3,914
その他の包括利益累計額合計	△605	3,914
純資産合計	4,718,062	4,684,874
負債純資産合計	5,580,821	5,329,548

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	2,743,539	2,435,640
売上原価	1,952,017	1,735,283
売上総利益	791,522	700,356
販売費及び一般管理費	685,011	633,171
営業利益	106,510	67,184
営業外収益		
受取利息	1,721	1,298
助成金収入	7,211	5,453
その他	521	659
営業外収益合計	9,454	7,411
営業外費用		
持分法による投資損失	7,141	23,846
為替差損	2,702	—
その他	—	40
営業外費用合計	9,843	23,887
経常利益	106,121	50,708
特別利益		
固定資産売却益	—	2,026
特別利益合計	—	2,026
税金等調整前四半期純利益	106,121	52,735
法人税、住民税及び事業税	96,306	32,446
法人税等調整額	△34,142	24,287
法人税等合計	62,163	56,734
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	43,958	△3,999
少数株主利益	—	—
四半期純利益又は四半期純損失(△)	43,958	△3,999
少数株主利益	—	—
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	43,958	△3,999
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	438	4,519
持分変動差額	7,825	5,417
その他の包括利益合計	8,264	9,937
四半期包括利益	52,222	5,938
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	52,222	5,938
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	106,121	52,735
減価償却費	36,334	34,981
固定資産売却損益(△は益)	—	△2,026
引当金の増減額(△は減少)	74,644	△31,984
受取利息	△1,721	△1,298
助成金収入	△7,211	△5,453
持分法による投資損益(△は益)	7,141	23,846
売上債権の増減額(△は増加)	157,468	172,920
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,543	△2,139
仕入債務の増減額(△は減少)	△6,772	△35,255
前払費用の増減額(△は増加)	△20,718	△29,753
未払費用の増減額(△は減少)	16,220	△8,798
未払消費税等の増減額(△は減少)	△4,570	△17,870
その他	19,243	17,013
小計	373,636	166,917
利息及び配当金の受取額	1,728	1,326
助成金の受取額	7,211	5,453
法人税等の支払額	△27,538	△151,950
営業活動によるキャッシュ・フロー	355,038	21,746
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,733	△3,277
有形固定資産の売却による収入	—	3,205
有価証券の売却による収入	—	28,000
無形固定資産の取得による支出	△69,861	△33,501
敷金及び保証金の回収による収入	1,311	8,662
敷金及び保証金の差入による支出	△1,395	△1,386
従業員に対する貸付けによる支出	—	△1,100
従業員に対する貸付金の回収による収入	1,119	1,094
投資活動によるキャッシュ・フロー	△72,559	1,696
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△39,180	△39,374
財務活動によるキャッシュ・フロー	△39,180	△39,374
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,552	6,660
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	240,745	△9,271
現金及び現金同等物の期首残高	3,704,724	3,879,621
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,945,470	3,870,349

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、システム検証事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

5. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

①生産実績

当社グループの提供している事業はシステム検証サービス業でありますので、事業上の特性から生産実績を示すことは困難であるため記載しておりません。

②受注実績

当第2四半期連結累計期間の受注実績をサービス別に示すと、次のとおりであります。

サービス別	受注高 (千円)	前年同四半期比 (%)	受注残高 (千円)	
			受注残高 (千円)	前年同四半期比 (%)
開発支援検証サービス	2,520,529	3.0	972,387	36.3
認定支援サービス	8,909	△0.6	2,960	1,084.0
検証情報サービス	45,407	107.1	34,920	98.3
製品検証サービス計	2,574,845	3.9	1,010,267	38.1
セキュリティ検証サービス	50,473	6.2	23,770	283.4
その他のサービス	38,734	△31.7	12,072	△30.0
合計	2,664,053	3.1	1,046,109	38.6

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

③販売実績

当第2四半期連結累計期間の販売実績をサービス別に示すと、次のとおりであります。

サービス別	販売高（千円）	前年同四半期比（％）
開発支援検証サービス	2,306,245	△11.4
認定支援サービス	5,949	△31.7
検証情報サービス	47,809	51.6
製品検証サービス計	2,360,004	△10.7
セキュリティ検証サービス	39,753	△26.6
その他のサービス	35,882	△22.7
合 計	2,435,640	△11.2

(注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(注) 2. 前第2四半期連結累計期間及び当第2四半期連結累計期間における主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は次のとおりであります。

相手先	前第2四半期連結累計期間		当第2四半期連結累計期間	
	金額（千円）	割合（％）	金額（千円）	割合（％）
ソニー株式会社	370,647	13.5	343,305	14.1
株式会社デンソー	344,504	12.6	282,291	11.6
パイオニア株式会社	309,571	11.3	279,893	11.5